



東京2025デフリンピックまで  
あと100日を切りましたね！



8月7日、開催**100**日前のこの日、東京スカイツリーが桜色に染まったんだ！  
東京2025デフリンピックテーマカラーの桜色  
地上350mの天望デッキ上部にはレーザーマッピングによる演出。  
この催しは11月15日(開会式)17:30~24:00にも予定しているみたい！



11月15日(土)16:30~の開会式と、  
11月26日(水)16:30~の閉会式は  
渋谷区にある東京体育館で開催されます。  
観覧は無料ですが申し込みが必要です。



## サークル紹介

私たちのサークルは、1999年4月1日、「手話芝居夢」として産声を上げました。流山市の手話講座で学んだ28名の卒業生は、1年間学んだ手話を芝居やコーラスの形で生かし、ろう者と一般市民の架け橋なることを目指し活動が始まりました。

2003年6月には市内の先輩サークル「さつきの会」「木の会」などに続き、手話サークル「夢」と改名、翌年には流サ連に加入。発足当時から「手話芝居」に軸足を置き、ろう者との交流の中で手話表現力の向上を目指し、毎週木曜日の10時から東深井福祉会館などで例会を開いています。



2019年3月に発行された「創立20周年記念誌」をひも解くと、ろう者に教えていただきながら手話表現を磨き、東深井福祉会館で「笠地蔵」を発表したのは2000年9月、これが初舞台。これまでに取り組んできた芝居の演目のなんと多いこと。「僕丸君の魚釣り」「三匹の子豚」「さるかに合戦」「まんじゅうこわい」・・・流山市の民話「流れてきた山」「朝ねぼうの観音様」「目つぶしの鴨」なども網羅されており、合同おたのしみ会や福祉会館等の催しで披露してきました。「夢」を創立された諸先輩方の熱い息吹、そして、それを引き継いできた会員の思いが伝わってきます。



特集31号  
北総ブロック流サ連  
手話サークル「夢」  
の巻～♪



去る6月5日には、市内の幼稚園でろう者も交えて手話芝居「大きなかぶ」・手話コーラス「手のひらを太陽に」を披露。子ども達の元気な「うんとこしょ、どっこいしょ！」の声援を受け、演技には一層熱が入りました。年長さん達 90 余名の真剣なまなざしや覚えたての手話の「拍手」は実にキラキラと輝き、共生社会実現への道を明るく照らしているように感じられました。



芝居だけでなく、手話コーラスや手話の字習、そして今年度から始まった貯筋運動など活動内容は多彩です。5月に実施したつくば方面へのバスでの施設見学には、ろう者や他のサークル員も含め31名が参加し、親交を深めることができました。

また、流山市デフ協会や市内の他のサークルとともに聞こえない人への理解や手話の普及を図るため、小中学校での手話教室・市職員の手話講習会・市民まつりへの参加などの活動も行っています。

これからもろう者に教えていただきながら、豊かな手話表現の使い手となれるよう楽しく研鑽を積んでいくサークルを目指したいと思います。

第2回役員会議 9月21日(日) 千葉聴覚障害者センター 予定  
後援会について、各種イベント・検討、その他



県サ連ホームページ <http://kensaren.sakura.ne.jp/>  
発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久